

合橋地域づくりの会



地区の概況

人口	1,776人	小学校	合橋小学校（児童数 77人）
世帯数	660世帯	中学校	但東中学校（生徒数 106人）
高齢化率	36.0%	幼稚園	なし
集落数	15	保育園	なし
		認定こども園	合橋認定こども園（園児数 46人）

組織の状況

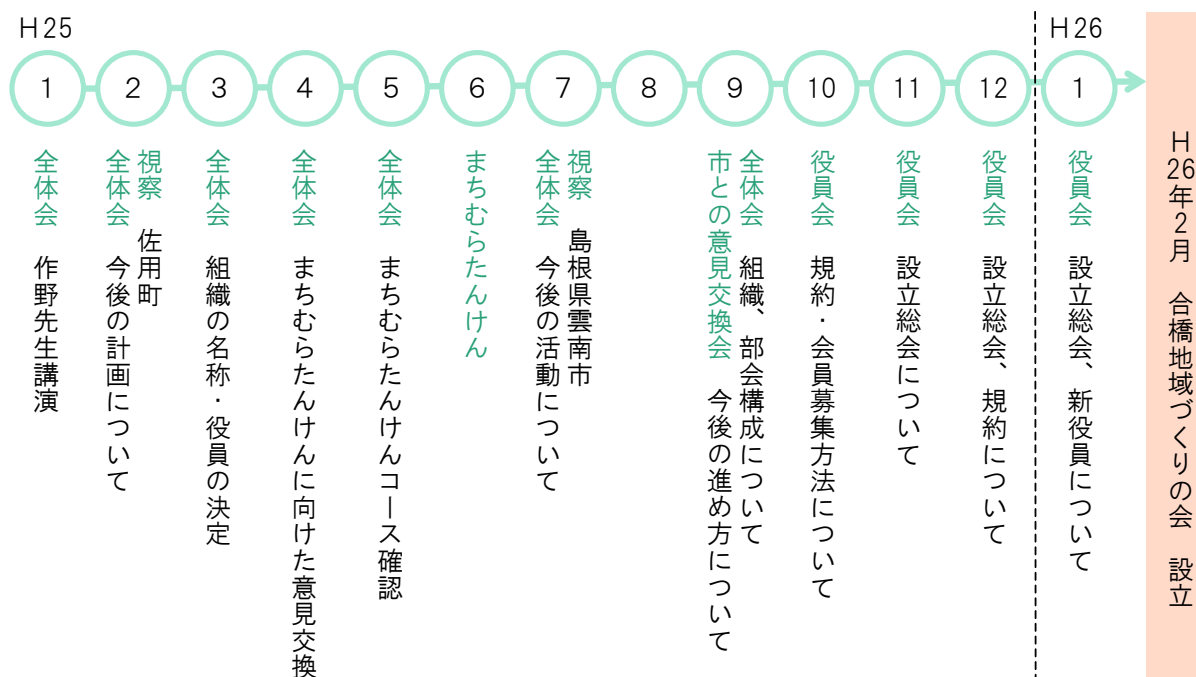
代表者名 宮嶋 幸広

設立年月日 H26.2.8

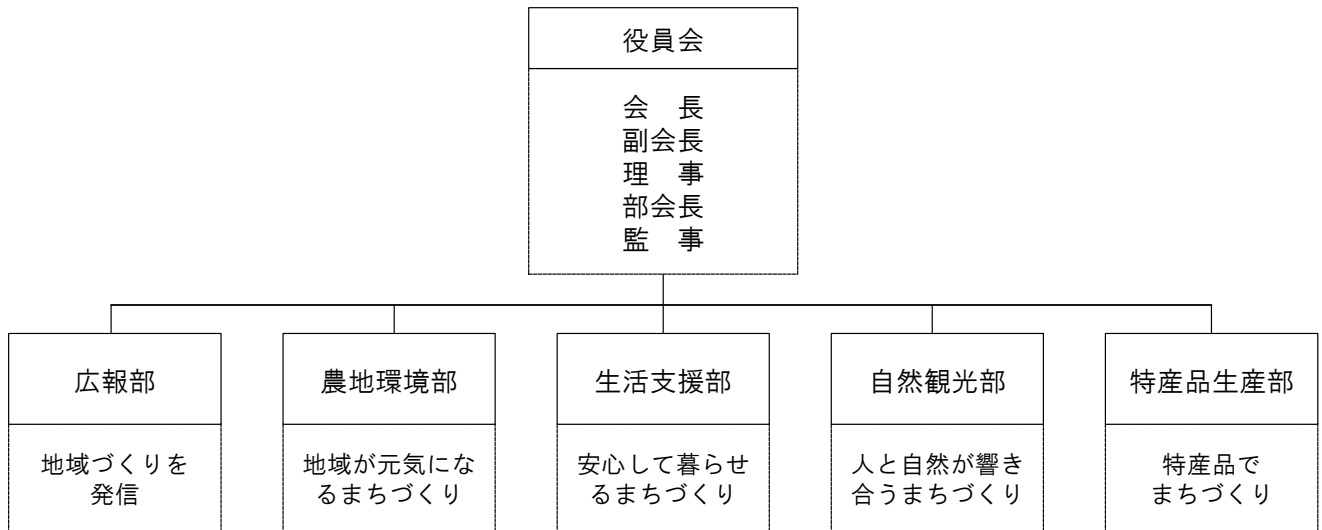
役員体制 会長1名、副会長2名、理事4名、各部会長5名、監事2名

設立までの経過

*平成26年4月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

合橋地域づくり計画

誇れること、自慢できることがある合橋。
住んでいてよかったと思える合橋をめざして！

策定経緯

過疎化が進む中、合橋地区で起こる様々な課題に対し、地域自らが自分の課題と認識し、主体的に取り組みを展開するため、平成26年4月に策定。

策定手法

役員が主体となり、地域の課題や魅力、また地域固有の伝統文化などを整理し、合橋地区の豊かな未来を実現するためにはどうすればよいのかなどの検討を行い策定した。

将来の地域ビジョン

- ・ 自然の魅力が溢れる地域づくり
- ・ みんなが安心して暮らせる地域づくり
- ・ ふるさと合橋 誇りと豊かな心を育む地域づくり
- ・ 特性を活かした活気ある地域づくり
- ・ 訪れてみたくなる美しい地域づくり
- ・ 自分達の地域は自分達で守る地域づくり

分野別取組み内容

地域振興

- ①特産品開発 鮎のヘシコ、ウドの塩漬
け、きな粉あめ、バラジャムの販売
- ②彼岸花の植栽
- ③各種イベント出店
- ④広報紙「ぼちぼち」の発行
- ⑤合橋「わくわく農場」運営
- ⑥空き家古民家対策
- ⑦大阪経済大学との交流

地域防災

- ①普通救命講習
- ②各地区防災マップの確認
- ③各地区避難訓練
- ④消防団による活動

地域福祉

- ①チクタク合橋
- ②まごのて活動
- ③買い物ツアー
- ④一人暮らし高齢者お弁当配達
- ⑤小学校福祉授業
- ⑥歩キングイベント
- ⑦サロン活動

人づくり

- ①グラウンドゴルフ大会
- ②乳幼児親子学習サークル
- ③各種サークル活動
- ④公民館各種教室

コミュニティの取組み



きな粉あめ、鮎のヘシコ、バラジャム等の『特産品開発、販売』、高齢者の方のちょっとした困りごと（薬の受け取りや買い物代行、電球の取り換えなど）をお手伝いする『まごのて活動』、買い物に行きたくても行けないが、やっぱり商品を手にとって選びたいという声をサポートする『買い物ツアー』を継続して実施しています。

平成 27 年度からは新たな取組みとして、『合橋わくわく農場』の運営を始めました。農場にはさつま芋 3 種類を植え付けし、イベントで焼

き芋として販売する等、耕作放棄地対策のひとつとして取り組んでいます。

また、大阪経済大学のスタディツアー（8月3日～4日）や地域社会調査（11月19日～22日）の受け入れを行いました。受け入れを通じて大学生との交流を進めていくことで、協働の地域づくり活動にも力を入れていきたいと考えています。

現在、「合橋地域づくりの会」は 100 名近くの会員数となっていますが、部会ごとの活動がメインとなっていて、異なる部会に所属する会員同士の繋がりが薄いのが現状です。今年度は全会員を対象にした取組みを企画し、会員同士の繋がりをさらに深めていきたいと考えています。

また、会員はお年寄りが多いですが、普段はなかなか交流する機会がないので、副会長をやらせていただく中で、そういう機会をもらえることにとっても感謝しています。



谷垣洋一郎さん
(同会 副会長)